

## 私と「50.240」

文・・・・JA1EIR

今にして思えば、私が五十代半ば頃の話に戻る事になります、其のころの私は無線をするでもなく、毎日暇があれば無線機の前で他局の交信を聞くだけの「タヌキ」ワツチばかりが日々の局でした。

ある時、其の日も外は雨模様で仕事も行けずに無線機の前で何時ものように聞き耳を立てていると、「ハローCQ、CQ、CQ 50.240SSB モービルグループは聞いていませんか」の声が微かな信号にて私の耳に飛び込んできました。其のときの感激は、いまだに忘れることは出来ません。

其の声の主は誰か、今でも目を閉じれば聞こえて来そうな気になる声は、「JN1TLF」沖君の声でした。そして呼び出されている相手の局は、「JS1FVM」わが娘の声ではないか、私は瞬間には理解ができずに、只聞き耳を立てるだけで、「ブレイク」を掛けることも出来ずにいました。

そして次の瞬間、これは「タヌキ」をしていようと自分に言い聞かせて、聞いている事にしました。其のころの二人は互いの愛が実り二人の生活がスタートしたばかりの、新婚ホヤホヤの二人で、無線で話す内容も私が聞いているとも知らずに、甘い話ばかり、と思えば其れが大違い、親の勘違い、何とアンテナの取り付け方の話ではないか、私としては聞き逃すことのないように、ヘッドホンに切り替えて、無線機にしがみつくようにして、二人の甘い会話に聞き惚れていました。すると、何やらアンテナが短いから君の電波が聞きぬくとか、何とか話を言い出す始末に、突然私は「タヌキ」も忘れて声を出す始末になりました。

驚いたのは、二人の局長です、図らずも聞いてはいないと思い込んでいた親の声が、「ブレイク」ですからね、あの時の交信は記録こそされてはいませんが、私にとっては最大級のハプニングでした。そして喜びでも有りました。

話が横道にそれて悪しからず、アンテナが短いとか、長いとかの話になりだして、「TLF」が、やはり例のアンテナが欲しいと声を高くして「FVM」に付けることを要求し懇願する声に、私は、アンテナは3/8の長さではと、聞き返すと、「TLF」局長殿

は、其のころ私は、「JE1LLC」の呼び出し符号で運用していたので、「LLC」局、3/8のアンテナよりも QSB が少なく電波の飛距離が伸びるアンテナが有りますよと、応答があり、そこで私は「5/8」のアンテナの存在を知ることになる。

翌日は日曜日、いよいよ例のごとく懇願して手に入れた8/5のエレメントと基台等を揃えて、私の使う駐車場に240の局長面々が午後になると集まりだして、其れは其れは傍から見ていると、子供の集会でした。

いざ「アンテナ」を取り付け、と見ると「マッチングボックス」を取り付ける筈の牽引フックが短いではないか？車の持ち主は頭を抱えて暫く思案してから、とつぜん、後部バンパーを外すと決め手、見物をしていた局長たちは度肝を抜かれた様子でした。（新婚ホヤホヤの奥さんに懇願して手に入れた、車はいすゞ自動車のジェミニだから）

そして取り出したアンテナがこれまた長いこと、其れを見た私はまたまた度肝を抜かれる思い。

其の時に私が思い出したのは、子供のころに警察の車両には、長いアンテナが付いているジープを子供心に憧れ又、魅力も感じていた。

そのときの情景が、今まさに自分の目の前で展開されているのを見て、自分も子供のころの楽しさと、今現実となりつつある長いアンテナを抱きしめたくなりました。

皆でワイワイがやがやとする内にも、TLF と其の他のメンバー達にて取り付けも速やかに捗りと思いきや、？ 外したバンパーが中々取り付けが捗らずに汗を拭きながらの作業も終わりに近いので見ると、FVM が大きな声で、穴が空いていると、騒いでいました。其れもそのはず、5/8のアンテナは既に取り付けを終わり、最後の調整に入るところで、各「OM」達がアンテナ、アナライザーにて調整中、後の祭り、昨日買い求めたばかりの新車のバンパーが外され、孔もあけられて無残にも見る影なし、しかし、見れば其処には、銀色に輝く長い「釣り竿」？いやこれは失礼、目の中に映し出されたのは、240憧れのシンボル、8/5でした。取り付け完了。夕日が赤く染まる時刻まで？？？？

全員が手に持つものはジュウス？「乾杯」、其の夜は、240・

グループ恒例のロール、コールです、昼間の苦労を試す時間が、若い新婚さんにはたまらない時間、其れも其のはず、翌日からは、二人で何時も夢に見る、憧れの地、北海道へ旅立つ予定で、新車に穴を空けてまでも取り付けた「5/8」の威力を先ずは試したい気持ちで、車の中で待つ二人、其の日の担当は、立川市内、砂川十三番に局舎を構える固定局でした。

二人は昼間の疲れなど忘れて、ロール、コールにチェックインをして昼間みんなにお世話になった事のお礼をした後に、「池」OMから信号は3/8とは比べ物にならないとの、コメントを貰いその日は電源断。599、QSL

翌日は早起きしての、北の国へ旅立ち。5/8。万歳 その後旅行中の彼らの声（Eスポ）ですが、聞かずじまいでした。

さて、話は元に戻すことにして、5/8の魅力は、他に類を見ないアンテナです。取り付ける車両は、「セダン」よし「RV車」よし車の形状など選びません、50メガヘルツ、(50.240)にオンエヤーする局ならば、自分の乗る車には、アンテナは5/8だけで満足することでしょう。(以前は?)

今現在、グループの中で、既製品のアンテナで240に出ている方は何人ぐらいでしょうか、本当の良さが理解できた時には、遅いのです。

「5/8」の歴史は、当初、特に製作過程における苦労は涙と汗の苦労話です。只記憶に残すことは、純正の5/8の「スタイル」で現在使用している局は、池さんが一人で使うだけです。本来の5/8の形状に決まるまでには、「240」発足当時のメンバーが苦労を重ねて、中間の「六角ネジ」に着想するまで、其れは、其れは三度の食事も食べずに。

純正の5/8のアンテナの各部品は、これは失礼をしました。(参考に・組み立て方、及び各部品については、池さんに聞かれたし。資料閲覧はさせて貰えると思います。)

お許しが出れば、続編は次号にて。「JA1EIR」